



商工会議所も企業も 自己変革に挑戦し新たな価値の創出を

尼崎商工会議所会頭 大久保和正

新年明けましておめでとございませう。初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年4月1日に尼崎商工会議所の第33代会頭に就任し、10月末までの吉田前会頭の残任期間を務めたのち、11月1日から引き続き会頭職の重責を担わせていただくことになりました。尼崎商工会議所は前身である尼崎工業者共和会の設立から110年以上を数える歴史と伝統のある地域総合経済団体です。歴代会頭をはじめこれまで商工会議所活動に携われた方々の地域経済活性化への思いを継承し、元氣な企業をより多く増やしていくことでブランドスローガンに掲げる「企業と人が活きづく尼崎」の実現に向けて全力で取り組んでいく所存です。

さて、新型コロナウイルスは感染の流行と収束を繰り返す中で、コロナ対策に向けた国の動きも、そして国民の意識も新たな

段階に移りつつあるように感じます。感染拡大防止には十分な配慮をしつつ、社会経済活動を活性化させることで景気の回復に期待を寄せたいところですが、エネルギー価格の高騰や円安の急伸などによる原材料高・物価上昇が我々の生活やビジネスを直撃しており、先行きに対する不透明感が拭えずにいます。

厳しい経済環境にあります。コロナ禍においても現在に至るまで多くの会員事業所が新しい取り組みや事業の再構築を行って困難を乗り越えてこられたように、この逆境を自己変革の好機と捉え、新たな価値の創造に挑戦していただきたく存じます。本会議所も会員事業所の自己変革を支援していくために次に掲げる取り組みを重点的に実施していきます。

第一に本会議所が有する5,200会員のネットワークを活用した事業の展開です。コロナ禍で会員事業所間の交流事業を自粛していましたが、感染拡大防止策を講

じた上で「連携」や「新たな取引」の機会となるような多様な魅力を持つ会員同士の交流のイベントを開催いたします。そこで出会ったビジネスパートナーとの間で互いに不足する経営資源を補完し合い、自社の強みに磨きをかけることで付加価値の創出に繋げていただきます。

第二に経営者に寄り添った経営支援です。中小企業、特に小規模事業者は自己変革に向けて活動しようにもヒト・モノ・カネといった経営資源が十分でないため、実行に移しにくいのが実情です。そこで、本会議所の職員と経営者が国や県、市などの支援施策の活用などを共に考え、「販路開拓」や「生産性向上」、「人材育成」などの分野において自社の変革に向けた活動を支援します。また、専門的な知識を必要とするものにはサムライ研究会に所属する専門家を派遣して課題に向けて取り組みます。

第三に尼崎の魅力づくりです。昨年、本会議所の青年部・女性部やあきんど倶楽部などの各異業種団体においては、地域の資

源を活かしたまちづくり事業や賑わいを生む集客イベントなどを実施され、地域の人々が笑顔で楽しめる場をつくっていただきました。また、ご当地グルメの尼崎あんかけチャンポンの振興や伝統野菜の尼崎などを活用した商品開発を行う団体にも本会議所が携わっています。引き続き異業種交流団体等の活動を支援し、尼崎の魅力を発信することで尼崎に人が集い、そこから賑わいへと昇華させ新たなビジネス機会の創出を図っていきます。

今後も企業を取り巻く環境は不安定で不確実であるという認識のもと、会員事業所の自己変革を促すためにも商工会議所自身も環境の変化に対応し、会員事業所のニーズに応えられる経済団体にアップデートする必要があります。役員・議員と共に力を結集して組織の強化を図り、事務局職員は常に情報の収集能力を高めて会員事業所にフィードバックを行っていきます。また尼崎市や兵庫県との連携も密にして会員事業所の声を届け、各施策に反映してもらえよう働きかけていきます。ぜひ本会議所の活動に関心を持っていただき、各事業にご協力、ご参画を賜りますようお願いいたします。

会員事業所の皆様にとって、本年が更り多き、輝ける一年となりますよう新年のご挨拶とさせていただきます。

以上